

Ⅱ . 資格取得について

資格取得

■自己開発センター利用時間

平日：8:30～17:20 / 土曜日：8:30～13:00

自己開発センターで取り扱っている資格試験一覧

将来の目標を定め、資格試験にチャレンジするよう心掛けてください。

資格試験・講習会に関する申し込み・相談は、自己開発センター（8号館2階）で受付します。詳しいことは「LICENSE2020」や自己開発センター ホームページ、学内掲示等で確認してください。（下記の試験すべての申し込みには対応していないのでご注意ください）

資格試験スケジュールや受験申込などの情報 <http://www.kanazawa-it.ac.jp/shikaku/>

■機械関係

機械設計技術者（3級）
施工管理技士（管工事）
CAD 利用技術者（2次元・3次元）
ボイラー技士
組み込みソフトウェア技術者試験（ETEC）

■電気・電子関係

電気工事士
電気主任技術者
エネルギー管理士
施工管理技士（電気工事・電気通信工事）
消防設備士
電気通信主任技術者
工事担任者
陸上無線技術士

■情報関係

情報処理技術者
シスコ技術者認定試験
ORACLE MASTER
CG-ARTS 検定
デジタル技術検定
Java プログラミング能力認定試験
Linux 技術者認定試験（LPIC）

■土木・建築関係

一級・二級建築士（卒業後）
宅地建物取引士
土木技術検定（2級）
施工管理技士（土木・造園・建築）
火薬類保安責任者
福祉住環境コーディネーター
インテリアコーディネーター

■環境・化学関係

公害防止管理者
バイオ技術者認定試験
生物分類技能検定

■高度技術系

技術士補
Fundamental of Engineering（FE）

■語学関係

TOEIC
実用英語技能検定
技術英語能力検定（旧：工業英語能力検定）
日本漢字能力検定
日本語検定

■実務関係

危険物取扱者
Microsoft Office Specialist（MOS）
品質管理検定
知的財産管理技能検定
秘書技能検定
日商簿記検定
実用数学技能検定
カラーコーディネーター
低圧電気取扱業務特別教育認定講習

■公務員

国家公務員（総合職・一般職）
地方公務員（行政・警察・消防）
☆公務員は資格ではありませんが、毎年、自己開発センターで公務員教養試験対策講座を開講しているのここに記載しています。

自己開発センターで開講している資格取得のための講座一覧

第二種電気工事士（筆記・技能）
 第三種電気主任技術者（理論・電力・機械・法規）
 宅地建物取引士
 危険物取扱者（甲種）
 3級機械設計技術者
 低圧電気取扱業務特別教育

☆公務員教養試験対策講座
 など

資格試験対策講座の詳細は、
 自己開発センター前の掲示板等
 学内掲示で案内いたします。

認定校として許可を得ている資格一覧（学科別）

■「電気電子工学科」を卒業した学生

第一級陸上特殊無線技士・第二級海上特殊無線技士

在学中に指定の科目を修得した者は、申請することによって第一級陸上特殊無線技士及び第二級海上特殊無線技士の資格が与えられます。

なお卒業後、「第一級陸上特殊無線技士」および「第二級海上特殊無線技士」の免許を申請する者は、「卒業した者の住所」を管轄する地方総合通信局に申請しなければなりません。

電気主任技術者

在学中に指定の科目を修得し、卒業後、所定の実務経験を経た者は第一種～第三種の電気主任技術者免状の交付申請を行うことができます。

第二種電気工事士

在学中に指定の科目を修得し卒業した者は、第二種電気工事士の筆記試験が免除となります。

■「電気電子工学科」または「情報工学科」を卒業した学生

電気通信主任技術者（一部受験科目免除）

在学中に指定の科目を修得後し卒業した者は、「電気通信システム」科目が免除されます。

なお在学中であっても、指定の科目を修得した者は受験することができます。

■「環境土木工学科」を卒業した学生

測量士・測量士補

卒業後、国土地理院へ登録することにより、測量士補になることができます。また、卒業後、測量に関し1年以上の実務経験を積み、国土地理院へ登録することにより、測量士になることができます。

■「建築学科」を卒業した学生

一級建築士・二級建築士・木造建築士

学部卒業直後から実務経験を経なくても受験可能です。

一級建築士については、在学中に建築に関する所定の科目を取得し、試験に合格した上で建築実務の経験が2年以上あれば登録することが可能です。

■「心理科学科」を卒業した学生

認定心理士

卒業後、日本心理学会へ登録することにより、資格を得ることができます。